

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和 5年 6月 30日 神戸市長 宛 提出者 住 所 神戸市西区福吉台1丁目1617-1 氏 名 ナブテスコ株式会社西神工場長 伊藤 宙 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 078-967-1551 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ナブテスコ株式会社西神工場
事業場の所在地	神戸市西区福吉台1丁目1617-1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	3099 他に分類されない輸送用機械器具製造業
②事業の規模	令和4年生産高160億76百万円
③従業員数	549名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別紙2 参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 納品部品個別梱包から通い箱使用への変更		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) すべての産業廃棄物を分別し、有価物の選別の実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合物の分解による分別細分化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用できるよう分別する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 分別先の誤認識解消		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 表面処理使用の汚泥含有水の減量			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 現状の継続			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 飲料用ガラスびんおよび薬品付着ガラスびん、廃砥石リサイクル処理 一般ガラスくずのリサイクル処理	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 小型廃砥石のリサイクル処理	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への委託品種増加	

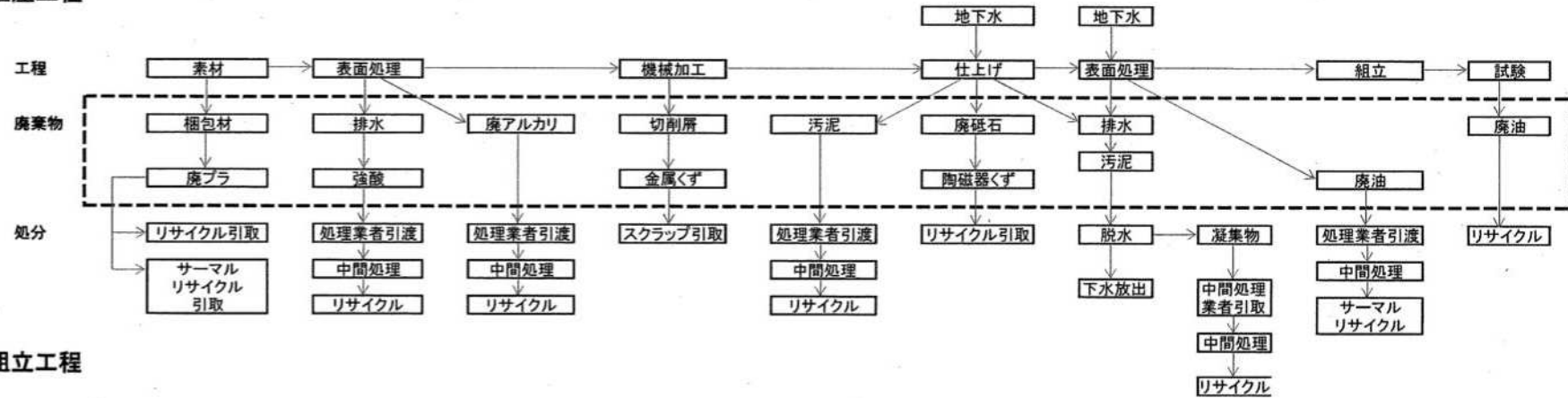
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
現状の継続			
※事務処理欄			

備考

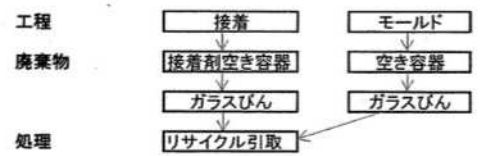
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第1面④ 別紙1

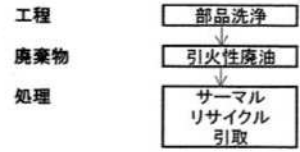
・生産工程



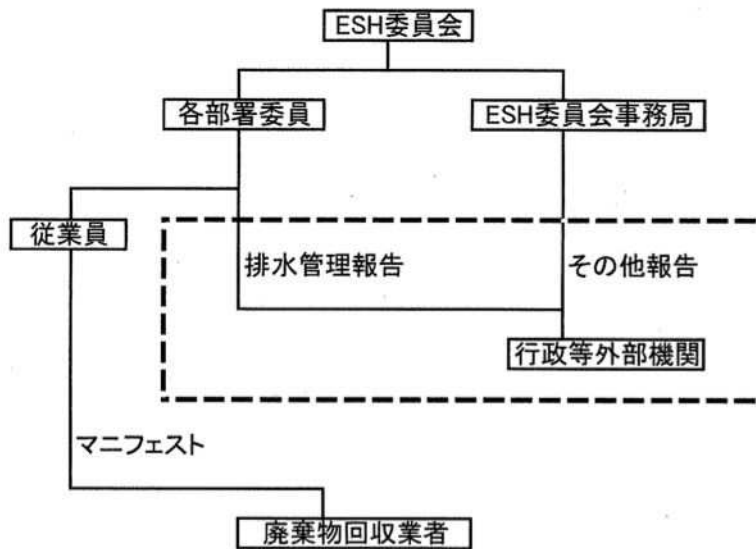
・組立工程



・検査工程



別紙2 管理体制図



別紙3

①現状【前年度(2022年度)実績】

(トン)

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0500廃アルカリ	0600廃プラスチック	1200金属くず	1300陶磁器くず	3100廃電気機器	3500廃電池	小計
排出量	4691	149	1.4	67	60	0.1	0.05	0.3	4969
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4642	0	0	0	0	0	0	0	4642
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	49	149	1.4	67	60	0.1	0.05	0.3	327
優良認定処理業者への処理委託量	19	149	0	64	0	0	0.05	0	232
再生利用事業者への処理委託量	49	149	0	67	60	0.1	0.05	0.3	325
認定熱回収業者への処理委託量	16	149	1.4	64	0	0	0.05	0	230
認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	30	0	0	0	0	0.1	0	0	30

②計画【目標】

(トン)

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0500廃アルカリ	0600廃プラスチック	1200金属くず	1300陶磁器くず	3100廃電気機器	3500廃電池	小計
排出量	4644	148	1.4	66	59	3	0.1	0	4922
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4596	0	0	0	0	0	0	0	4596
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	48	148	1.4	66	59	3	0.1	0	325
優良認定処理業者への処理委託量	19	148	0	63	0	0	0.1	0	230
再生利用事業者への処理委託量	48	148	0	66	59	3	0.1	0	324
認定熱回収業者への処理委託量	19	148	1.4	63	0	0	0.1	0	231
認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	106	0	0	0	0	3	0	0	109